

資料 3. 休日運行について

(1) 見直し基準

約 3 年間の実証運行において、休日については、利用者数が当初の需要予測を下回り、また、効率性・効果性の低い運行となっていることで取り止めることも検討されていた。

しかし、休日の運行は、地域での買物・娯楽活動等を支える重要な交通手段を担っていることから、買物・娯楽活動等における市内移動を確保するため、休日限定の新たな実証運行を行っている。

実証運行を実施するにあたり、客観的な検証を可能とするために、見直し基準を定めている。見直し基準、評価のための各種調査は以下の通りである。

表. オレンジゆずるバス運行の見直し基準

項 目		見直し基準値
ルート・バス停の見直し	バス停 1 日あたりの利用者数	50 人以上 (向上)
		9 人以下 (改善)
便数の見直し	バス 1 便あたりの利用者数	27 人以上 (向上)
		15 人以下 (改善)
運賃等の見直し	収支率 (運賃収入+その他収入)	65%以上 (向上)
		50%以下 (改善)

資料：箕面市地域公共交通総合連携計画（平成 22 年 3 月）

(2) 評価のための各種調査

表. 評価のための各種調査

調査の種類	調査の目的	調査項目	評価指標 〈見直し基準〉
市民 アンケート調査 【調査票送付日】 ・10月10日(木) 【配布・回収状況】 ・配布数2,000件 ・回収数836件 (回収率41.8%)	・新たなバスの利用状況や認知状況、利用促進策に対する市民の反応を把握するとともに、今後の利用動向や需要(ニーズ)を分析する	・利用経験 ・利用頻度 ・新たなバスに対する認知 ・公共交通に対する評価 ほか	利用率 認知率
バス利用者 アンケート調査 【調査票配布日】 ・10月11日(金) ・10月13日(日) 【配布・回収状況】 ・平日配布数1,061件 ・平日回収数570件 (平日回収率53.7%) ・休日配布数306件 ・休日回収数171件 (休日回収率55.9%)	・バス利用者に対して、利用状況の把握を行うとともに、今後の利用動向や需要(ニーズ)を分析する	・利用目的(目的地) ・利用頻度 ・精算方法 ・属性(年齢、性別、住所) ・改善や充実の要望 ほか	利用率 認知率 〈運行サービス〉 〈運賃等〉
バス乗降調査 【調査日】 ・10月20日(日) 【配布・回収状況】 ・配布数427件 ・回収数427件 (回収率100%)	・ルート、便、地区の実際の利用実態を把握し、運行の見直しを行う判断基準に対して客観的な評価を行う	・乗車区間(系統、停留所) ・乗車便(時間) ・利用目的(目的地) ・利用頻度 ・精算方法 ・属性(年齢、性別、住所) ・乗り継ぎの有無 ほか	利用率 〈運行サービス〉 〈運賃等〉
バス事業収入調査	・ルートごとの運賃収入を把握し、運賃体系の見直しの有無を判断する	売り上げ調査(日別、券種別)	収支率

資料：箕面市地域公共交通総合連携計画(平成22年3月)